

平成 28 年 9 月号

## 今月の断酒表彰

☆ H・K さん 南千里支部 断酒十七年

☆ O・T さん 吹田支部 断酒二十一年

断酒表彰おめでとうございます。ますます  
のご活躍を期待いたします。



平成 28 年 9 月 3 日発行 No.163

編集・発行 事務局・広報部

<http://suitashi-danshukai.net>

## 【今月の「指針と規範」】断酒会規範

## 八 断酒会は酒害相談はもとより、啓発活動を通して社会に貢献する

断酒会員の誠意ある説得で断酒会につながり、現在、「断酒幸福」を自らの手にした人は数え切れない。

われわれは断酒できた喜びを断酒会に感謝すると同時に、時間と労力をいささかも惜しむことなく、われわれのために誠意の限りをつくした先輩会員に心から感謝している。そして、そうした人間愛に充ちた行動が一部の会員に限らず、断酒会員全員の使命であり、断酒会の伝統であることを知った。

会員同士の一体感が自らの断酒を可能にし、断酒会を支える最大の力になっていることも知った。また、その一体感が会員だけに限らず、広く酒害者同士にもあるべきものと理解し、現在、積極的に酒害相談活動に取り組むようになった。

従って、断酒会は自らの断酒のみならず、酒で苦しんでいる地域の酒害者のために何をすべきかを常に考え、積極的に援助活動をする組織である。援助活動の大半は酒害相談であり、われわれの義務といえるものである。

またわれわれの活動は、酒害相談活動に止どまるものではない。

近年、アルコール依存症に対する社会の関心が高まり、われわれ断酒会員の役割は、酒害者だけが対象ではない時期になっている。

断酒会は元来、酒害者が自らの意思によって酒を断つ組織である、という認識で現在まで成長してきたが、もう一步踏み込んで考えると、断酒会は酒害者の最後のひとりも残さないという大目的を持つ組織であり、それは断酒会を必要としない社会をつくることでもある。

そうした悲願を達成するためには、酒害相談のみならず広く社会に向って酒害の怖ろしさを伝え、酒害者をつくらないための酒害啓発活動を行う必要がある。酒害の知識のない人、誤った知識を持っている人たちを啓発することで、過去、社会に何の貢献もできなかったわれわれが、社会に貢献し、社会にとっても必要な人間になることができる。

(指針と規範 P87~P88)

## 断酒に思う (71)

## 第 44 回酒害相談講習会

南千里支部 N・T

私の断酒の原点は、酒害教室（大阪市内、12ヶ所で開催中）でした。

そこで断酒会会員さんから体験談を聞かせてもらい、又、「断酒会に入った方が止めやすいよ」とアドバイスを受けましたが、そう簡単に入会とまでは行かなかったです。

西淀川区の酒害教室で、平野先生に出会ったのが一番収穫だったと思います。いつもの調子で駄洒落を連発して笑わせてくれたり、私の素朴な質問にも熱心に語ってくれました。そんな事もあり断酒一年目の頃、1 回目の講習会の参加となりました。今回は、2 回目の講習で断然、諸先生方の話が心に入ってきたように思います。

一番は、やはり本人と家族の回復過程についてでした。「家族が失うものは、目に見えない物が多い」や、「家族（被害者の自分）を癒やすだけでは前に進めない」→「本人の協力者としての姿勢がとても重要」等でした。

今、素面だから言えるのかと思いますが、家族の苦しみを考えると飲んでいない場合ではない。…酒を飲む為なら、両親に平気で嘘をつき、充分困らせてきた私です。特に母は、心労が重なり「私の酒」が、自死の原因の一つになったのではないかと考えます。そして生きていく内に、謝れなかった事が残念でした。

講習会終了間近に、女性酒害者から「再飲酒した」と連絡があり、その対応をあたふたとしていて、講習会のテキストを読み返しておけば良かったと…。私は彼女の話しも半分で、お説教じみた事がほとんど相談になっていなかったと今、反省しています。これからも日々、断酒会で勉強。相手の気持ちに寄り添える様、努力します。

最後になりましたが、講習会に参加させて頂いて本当にありがとうございました。

## 【映画紹介】

### カノン

比嘉愛未、ミムラ、佐々木希が姉妹を演じ、母へのわだかまりを抱えたまま大人になった三姉妹が、母の過去をたどりながら、自分たちの傷に向き合う姿を描いたドラマ。金沢の老舗料亭で育った3人姉妹。次女は富山県で教師を、長女は東京で専業主婦、三女は生まれ育った料亭の女将と、それぞれ別の街で日々を送っていた。ある日、祖母の訃報を受け、金沢に集まった三姉妹は、死んだはずの母が生存している事実を知る。心に闇を抱え、アルコール依存症と戦っていた母はアルコール性認知症を患い、娘たちのことがわからない状態となっていた。アルコール依存症と戦う三姉妹の母親役を鈴木保奈美が演じる。

監督は「リトル・マエストロ」の雑賀俊朗。

映画「カノン」は10月1日(土)より角川シネマ新宿ほか、全国ロードショー。

